

タイトル：2020年度教育セミナー（第16回）

日時：2020年9月17日（木）～20日（日）

オンライン開催

「アルジェにおける植民都市計画とカスバの変容」

牧野 奈央（筑波大学大学院）

指導教員の勧めで今回のイスラーム☆教育セミナーに初めて参加・発表させていただきました。今年は新型コロナウイルス感染症対策のため対面開催ではなくオンラインという形でしたが、参加できたこと非常に嬉しく思います。本セミナーに参加して特に良かったと感じた点について二点示させていただきます。

まず1点目に、異なる分野を専門とする方々の前で自分の研究について発表する機会を頂いたことです。私の専門分野が都市や建築の歴史ということもあり、参加者の皆様にはあまり馴染みのない発表だったと思うのですが、今までにない切り口から鋭いご指摘やご意見を頂くことができ、多くの収穫がありました。例えば、地域や時代を超えて様々な助言を頂いたので、視野が広がり、別の視点からも課題にアプローチできることを学びました。また、初めて話を聞く方にどの様に簡潔に発表したら伝わるのか、自分自身の発表の方法を見直すきっかけとなりました。今回の経験を活かしつつ、今後の研究活動そして修士論文の執筆に励みます。

2点目に様々な講師の方々によるセミナーや受講生の発表が聞けたという点です。講師の方々によるセミナーでは多岐にわたる研究のお話や経験談、この様なコロナ禍での研究の進め方など、特に研究方法について勉強になりました。私自身現地調査に行けず悩んでいたのも、同じ様な悩みを共有できたという点でも今回のセミナーに参加して良かったと感じます。また、私が在籍している大学では、所属している研究室以外でイスラーム関係の分野をテーマに研究している学生はほとんどいません。そのため、イスラーム関係の分野を専攻している同世代の学生がどの様な内容の研究をしているか非常に興味がありました。発表の内容は専門でないと理解が難しいことも多々あったのですが、研究の組み立て方や質疑応答、議論の進め方など、参考にさせて頂きたいと思った発表が多くありました。

少しでも今後参加を検討されている方には、ぜひ参加し研究について発表することを強くお勧めします。また、交流会ではオンラインのツールを使いこなせず、受講生の方と交流できなかったのが心残りでした。積極的に講師の方だけでなく受講生とも交流すると、非常に刺激になり、研究のモチベーションにも繋がると思います。

最後になりますが、セミナーを企画・運営して下さった AA 研の先生方、千葉さんをはじめとするスタッフの皆さまに感謝申し上げます。ありがとうございました。